

<平成30年度秋季大会シンポジウム企画案>

「魚類の性決定・性分化・性転換 -これまでとこれから-」

日時・場所：平成30年9月18日（火）8:30-16:35 第 会場

企画責任者：菊池 潔（東大水実）・井尻成保（北大院水）・北野 健（熊大院自然科学）

08:30-08:35	開会の挨拶		菊池 潔（東大水実）
	I. 魚類の性決定	座長	井尻成保（北大院水）
08:35-09:15	1. 「メダカ属魚類の性決定遺伝子」		松田 勝（宇都宮大）
09:15-09:55	2. 「フグ類の性決定遺伝子たち」		菊池 潔（東大水実）
09:55-10:05	休憩		
10:05-10:35	3. 「ブリ属魚類の性決定機構」		小山 喬（東大水実）
10:35-11:15	4. 「トウゴロウイワシの性決定機構」		山本洋嗣（海洋大）・服部リカルド修平（海洋大，サンパウロ水産研究所）
	II. 魚類の性分化	座長	松田 勝（宇都宮大）
11:15-11:55	1. 「魚類の性分化におけるエストロゲンの役割」		北野 健（熊大院自然科学）
11:55-12:40	休憩（昼食）		
12:40-13:20	2. 「ティラピア、チョウザメ、ウナギの性分化」		井尻成保（北大院水）
13:20-13:50	3. 「軟骨魚類の性分化」		小林靖尚（近大農）
13:50-14:00	休憩		
	III. 魚類の性転換	座長	小林靖尚（近大農）
14:00-15:00	1. 「魚類の性転換現象から何を知らることが出来たか」		中村 将（美ら島財団総合研）
15:00-15:10	休憩		
	IV. 基調講演	座長	松田 勝（宇都宮大）
15:10-16:10	「魚類の性決定・性分化・性転換 -これまでとこれから-」		長濱嘉孝（基生研・名誉教授）
	V. 総合討論		
16:10-16:30		座長	北野 健（熊大院自然科学）
16:30-16:35	閉会の挨拶		北野 健（熊大院自然科学）

企画の趣旨

性統御は増養殖において確立が待望される技術である。しかし、性決定や性分化を制御するメカニズムは長い間分かっていなかった。2002年、魚類で最初の性決定遺伝子（メダカ *Dmy*）が同定されて以来、これまで6魚種から様々な性決定遺伝子が報告され、その多様性には驚かされることとなった。また近年、性決定以降の生殖腺の性分化についてもその分子制

御機構が明らかになりつつある。さらに、性転換する魚種についてもその分子機構の理解が大きく進み、性転換と通常の性分化との間で共通する機構が存在する可能性も浮かびあがってきた。本シンポジウムは、様々な魚種における生殖腺の性分化研究のこれまでの進展について理解を深め、これからの研究の方向性を議論する機会となるよう企画した。